

樹脂窓リサイクルシンポジウム開催

2026 年 10 月 21 日

塩ビ工業・環境協会

国内における使用済み樹脂窓リサイクルを目指して 2019 年に樹脂窓リサイクル検討委員会(本委員会)(委員長:東京大学大学院 清家剛教授、事務局:VEC、(一社)日本サッシ協会、樹脂サッシ工業会)が発足し、樹脂窓回収の仕組みづくりや効率的なリサイクル技術の確立について調査・検証・評価を実施してきました。2024 年には、上記活動を道内の樹脂窓に関連するステークホルダー様に認知していただくために第 1 回樹脂窓リサイクルシンポジウムを開催しました。その後、社会実装にむけた様々な取り組みがなされてきましたので、今年 10 月 16 日(金)に札幌市において、第 2 回シンポジウムを開催致しました。シンポジウムでは清家委員長の基調講演で始まり、次いで本委員会の活動報告に加えて、自治体・産廃事業者・関連する業界団体で実践されている取組事例を併せてご紹介しました。

樹脂窓リサイクル検討委員会は札幌市に於いて、以下の通り第 2 回樹脂窓リサイクルシンポジウムを開催しました。

- ・日時 2026 年 10 月 16 日(金) 13:30~17:00
- ・会場 TKP 札幌駅カンファレンスセンター
- ・後援 経済産業省北海道経済産業局
北海道
公益社団法人 北海道産業資源循環協会
一般社団法人 北海道建廃リサイクル推進協議会

冒頭、(一社)日本サッシ協会の山崎専務理事から開会の挨拶、続いて、経済産業省 北海道経済産業局 資源エネルギー環境部長の横田純一氏から来賓のご挨拶をいただきました。シンポジウムは 3 部構成で、第 1 部は清家委員長による基調講演、第 2 部は本委員会およびご協力いただいている再生原料化業者からの活動報告、第 3 部は北海道、廃棄物処理業者および関連する業界団体から、それぞれの環境への取組についてご紹介いただき、最後に VEC の小野専務理事の挨拶で閉会しました。



清家委員長

第 1 部、本委員会の清家委員長(東京大学大学院 教授)の基調講演「北海道における樹脂窓リサイクルの促進について」では、2024 年の第 1 回シンポジウムが樹脂窓リサイクルの周知を目的として実際されたことに対して、今回は社会実装に向けて一歩踏み出したことから、関係者のご協力が必要になるタイミングでの実施であることを発信し

ました。加えて、海外(欧州、韓国)のリサイクル事例紹介、先進事例の仕組み分析および樹脂窓リサイクルのこれから(回収方法やインセンティブ等の検討)について、話題提供がなされました。

第2部、本委員会および再生原料化業者からの活動報告では、使用済み樹脂窓の排出の実態および回収における課題に関する実地ヒアリング調査、高度選別プロセスの開発状況、樹脂窓水平リサイクルの技術開発状況および樹脂窓リサイクルの今後の展開について報告がなされました。

第3部、自治体、産廃事業者および関連する業界団体からは、北海道循環資源利用促進協議会等について、樹脂窓リサイクル推進に向けた現地廃棄物処理業者や板ガラスリサイクルの各取組について紹介がなされました。



VEC 小野専務理事

第2回シンポジウムの出席者数は、会場 63 名、Web アクセス数 40、と多くの方々にご参加いただきました。今回は社会実装に向けた事業化の取組をテーマとしましたが、本委員会の各種活動が確実に進捗していることを関係各位にお伝えすることができたと思います。また、樹脂窓リサイクル活動を後押ししていただいている自治体やリサイクルで連携している廃棄物処理業者、また同じ窓を構成するガラスの事業者団体とも方向性が一致していることも共有化できました。効率的な回収や体制構築など、すべきことは多々ありますが、関連するステークホルダーと協力して、ひとつずつ課題を解決していきたいと思っています。



会場の様子

以上

第2回 樹脂窓リサイクルシンポジウム 2026

2024年に開催した第1回シンポジウムでは樹脂窓リサイクル活動の周知を目的としました。

第2回シンポジウムでは社会実装を見据えて、事業化に向けた取り組みを紹介します。また、自治体・産廃事業者・関連する業界団体において実践されている取り組み事例を併せて紹介します。

日時：令和8年（2026年）10月16日（金）
シンポジウム 13:30～16:35（受付 12:45～）
意見交換会 16:45～18:45

会場：TKP 札幌駅カンファレンスセンター
北海道札幌市北区北7条西2丁目9
※当日は駐車場のご用意はございません
オンライン（Teams）併用

参加費無料

主催：樹脂窓リサイクル検討委員会

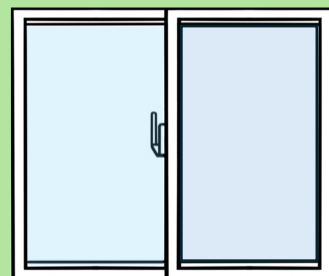
事務局：（一社）日本サッシ協会、樹脂サッシ工業会、塩ビ工業・環境協会

後援：経済産業省 北海道経済産業局

北海道

公益社団法人 北海道産業資源循環協会

一般社団法人 北海道建廃リサイクル推進協議会



シンポジウム プログラム

時間	項目	講演概要
13:30～13:35	開会挨拶	山崎 力 氏 一般社団法人 日本サッシ協会 専務理事
13:35～13:40	来賓挨拶	横田 純一 氏 経済産業省 北海道経済産業局 資源エネルギー環境部長
13:40～14:20	基調講演	演題 北海道における樹脂窓リサイクルの促進について 講師 清家 剛 氏 東京大学 大学院新領域創成科学研究科 教授
14:20～14:30	休憩	
14:30～14:50	樹脂窓 リサイクル 検討 委員会	演題 北海道における使用済み樹脂窓の排出実態と課題 講師 市川 晃子 氏 東京大学 大学院新領域創成科学研究科 共同研究員
14:50～15:10		演題 高度選別プロセスの開発 講師 宮本 政博 氏 日本資源技術株式会社 代表取締役
15:10～15:25		演題 樹脂窓水平リサイクルの技術開発 講師 大山 雄也 氏 一般社団法人 日本サッシ協会 樹脂リサイクル部会
15:25～15:40		演題 樹脂窓リサイクルの今後の展開 ー北海道循環資源利用促進協議会 WG の発足ー 講師 磯部 孝行 氏 東京電機大学 未来科学部 建築学科 准教授
15:40～15:50		質疑応答
15:50～16:00	休憩	
16:00～16:10	招待講演	演題 北海道循環資源利用促進協議会の取組等について 講師 遠藤 浩 氏 北海道 環境生活部 環境保全局 循環型社会推進課 課長
16:10～16:20		演題 樹脂窓リサイクル推進に向けた当社の取組 講師 湯藤 学 氏 角山開発株式会社 代表取締役社長
		講師 辻 健見 氏 角山開発株式会社 環境コンサルタント事業部 課長
16:20～16:30		演題 板ガラスリサイクルの取組 講師 伊東 弘之 氏 一般社団法人 板硝子協会 特任理事
16:30～16:35	閉会挨拶	小野 裕章 氏 塩ビ工業・環境協会 専務理事
16:45～18:45	意見交換会（ホール 3A）	